

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

日産化学工業株式会社 個人投資家向け説明会

説明者 取締役副社長 宮崎純一

2016年12月20日



NISSAN CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

会社概要①

1. 創業：1887年(明治20年)

高峰譲吉、渋沢栄一、益田孝らの明治の先覚者により、我が国初の化学肥料製造会社である東京人造肥料会社として創業、その後様々な化学分野に展開

2. 普通株式/資本金：

154百万株/18,942百万円 (2016年9月現在) 東証1部上場

3. 従業員数：連結2,371人 単体1,739人 (2016年3月現在)

4. 主な事業内容：

(1)機能性材料事業 (ディスプレイ材料、半導体材料、無機コロイド等)

(2)農業化学品事業 (農薬、動物用医薬品等)

(3)医薬品事業 (自社創薬、原薬・中間体製造/プロセス研究/GE原薬供給等)

(4)化学品事業 (アンモニア・硫酸系基礎化学品、ファインケミカル等)

5. 国内生産拠点:

袖ヶ浦、埼玉、富山、名古屋、小野田工場

6. 国内研究所:

物質科学研究所(船橋市)、生物科学研究所(白岡市)

材料科学研究所(船橋市、袖ヶ浦市、富山市)

7. 海外拠点(連結子会社):

Nissan Chemical Europe (仏、リヨン)

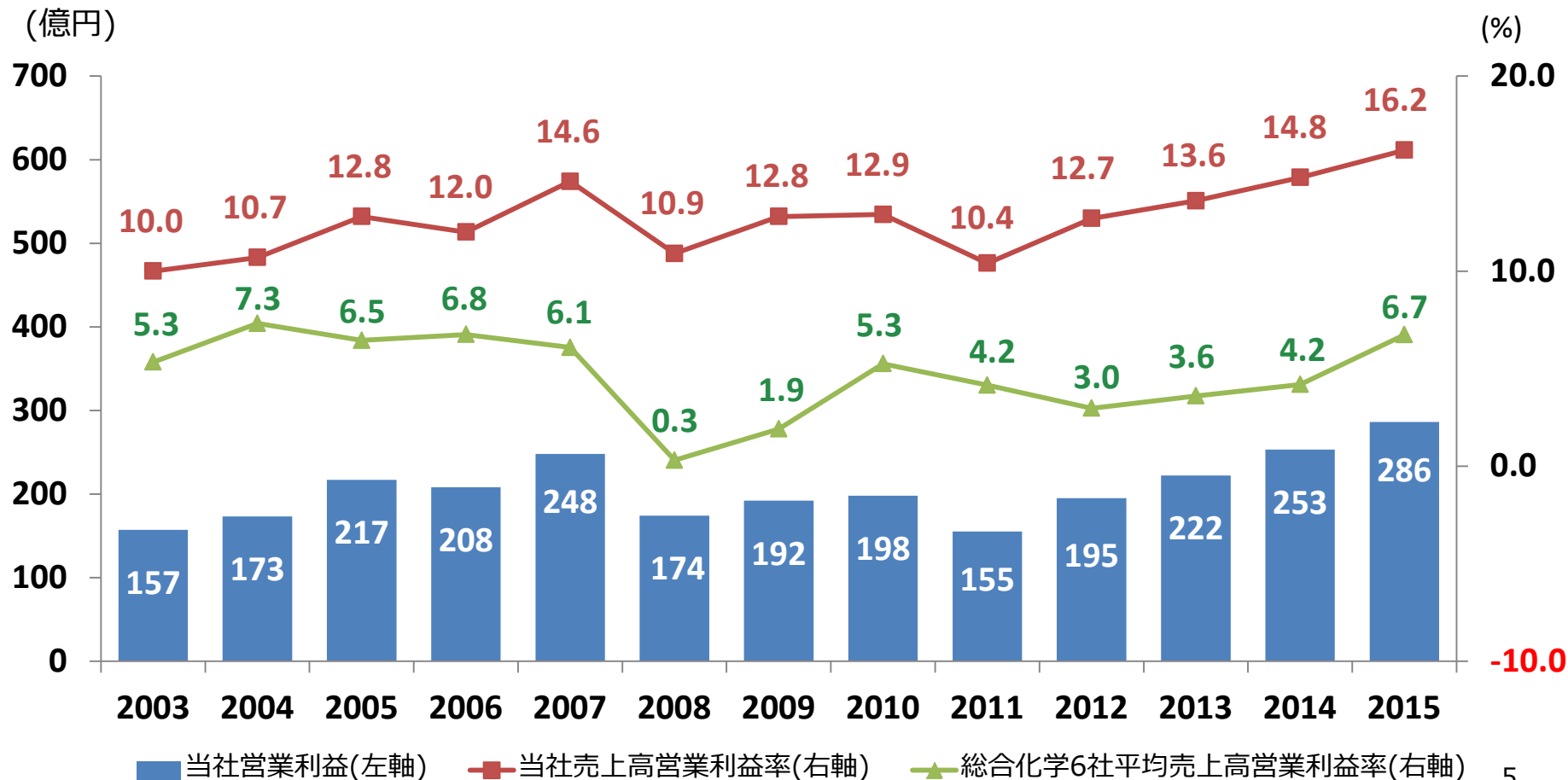
NCK Co.,Ltd(韓、平沢)

Nissan Chemical America Corporation (米、ヒューストン)

当社の特徴① 売上高営業利益率

1. 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持 (2003年度以降13年連続10%以上)

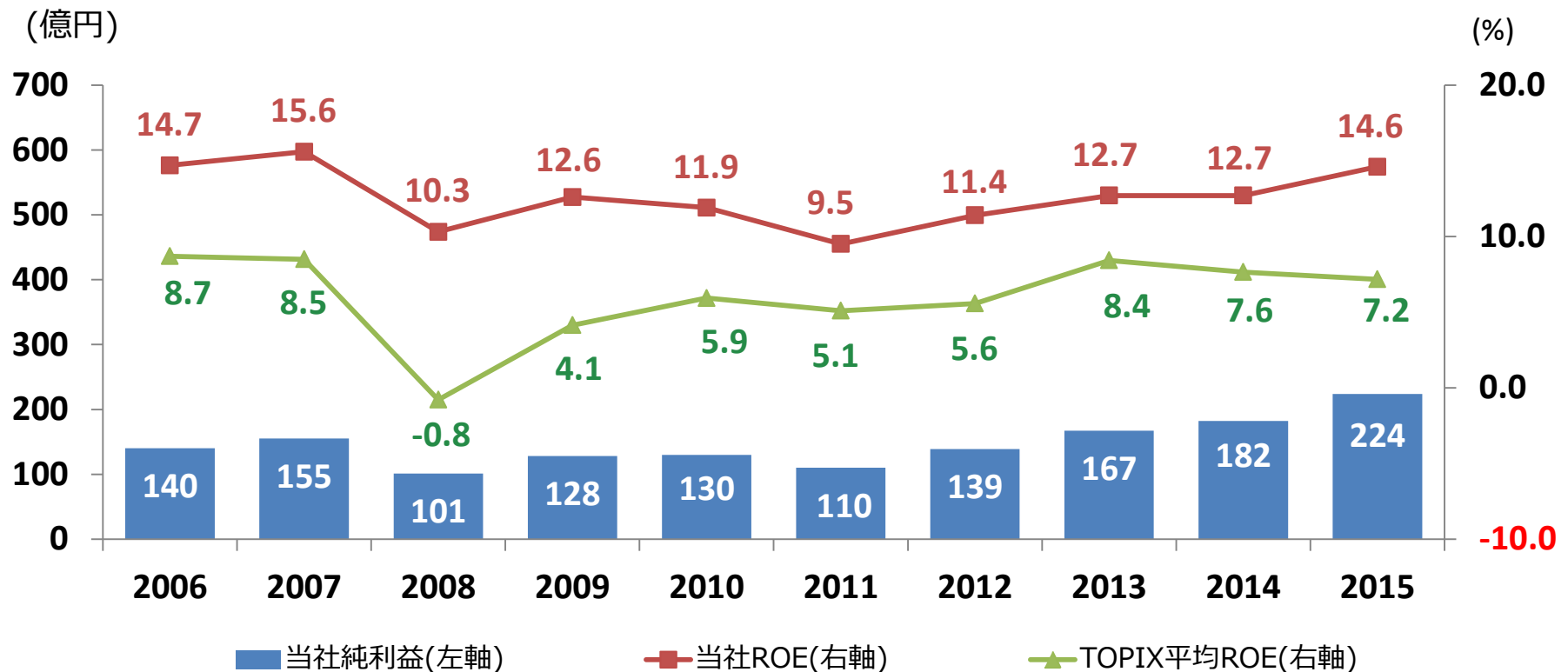
※売上高営業利益率(営業利益÷売上高 売上高に対する営業利益の比率)



当社の特徴② ROE

2. ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準を維持 2016年度以降は14%以上維持を目標とする

※ROE(Return on Equity 親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本)



当社の特徴③ 株主還元

3. 株主の皆さまへの積極的な利益還元

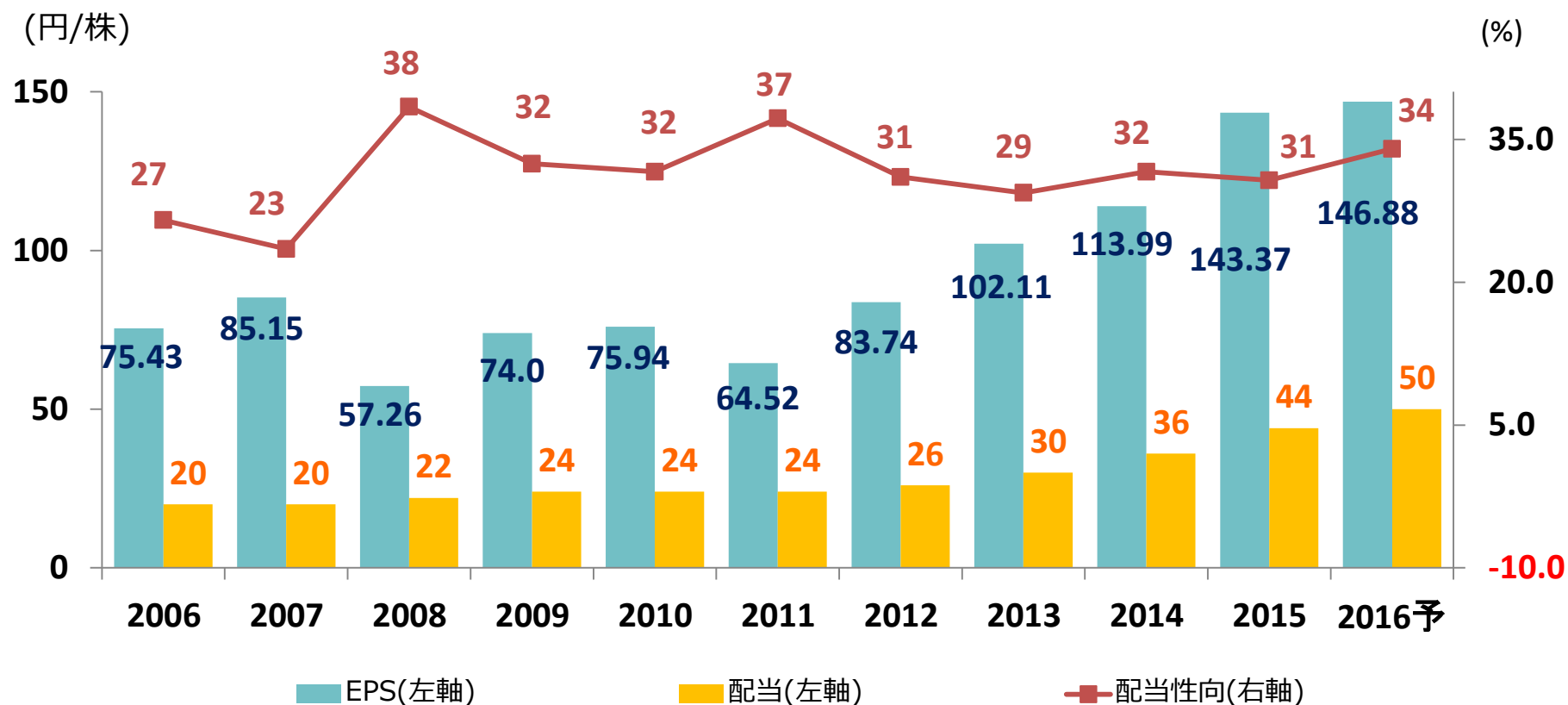
3-1) 配当性向

- ◆ 近年は30%を目標として配当してきた
- ◆ 現状実績30%から段階的に引き上げ、
2018年度以降は40%を目標（16年度は34%の予定）

当社の特徴④ 株主還元

◆ EPS、配当、配当性向

※EPS(Earning Per Share:一株あたり純利益 当期純利益÷発行済み株式数)



当社の特徴⑤ 株主還元

3-2) 自己株式取得

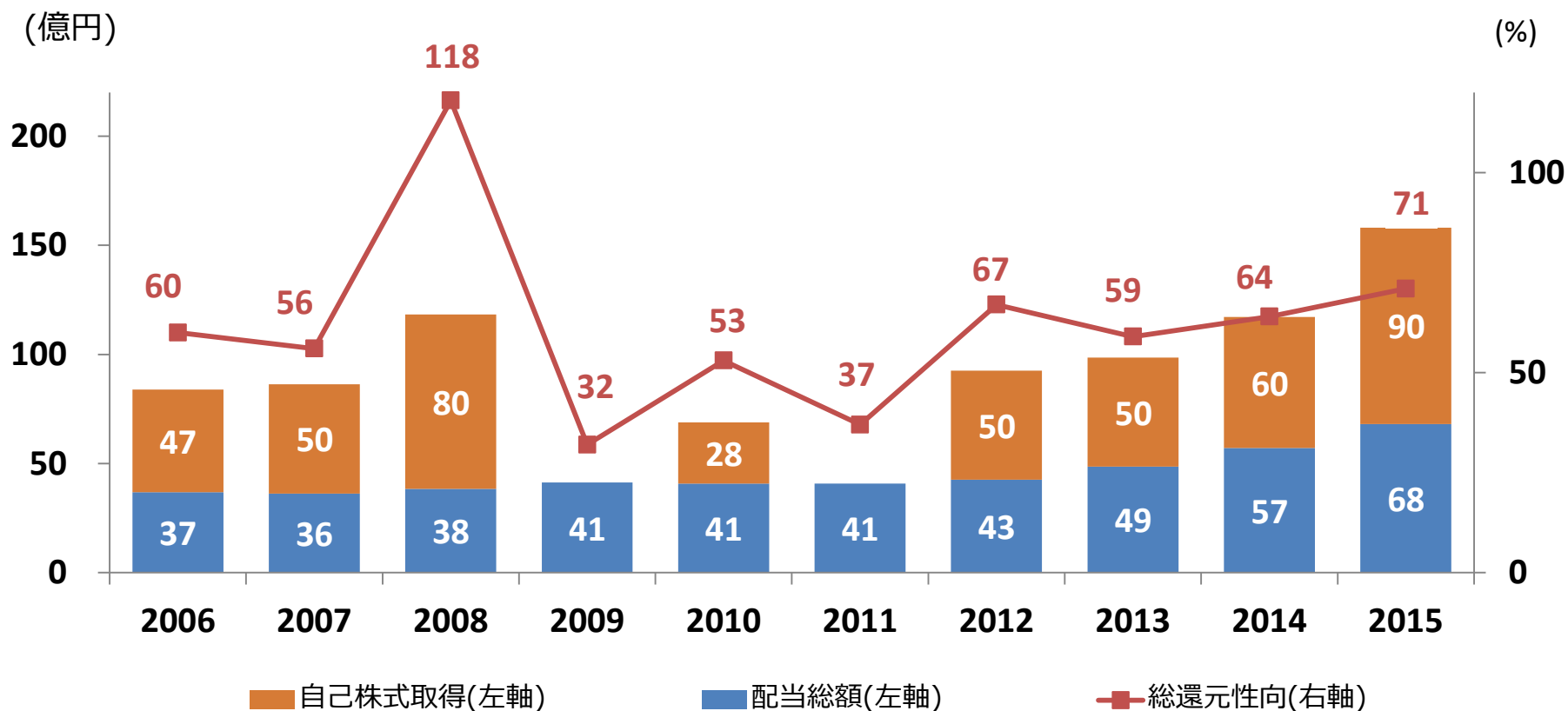
- ◆ ROE向上を目的に、2006年度から継続して実施
- ◆ 2006-16年度
取得総額505億円
取得総数3,374万株（取得開始前発行済み株式数の18%）

3-3) 総還元性向 ((配当総額+自己株式取得額)÷親会社株主に帰属する当期純利益)

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆さまへの積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、総還元性向70%を維持

当社の特徴⑥ 株主還元

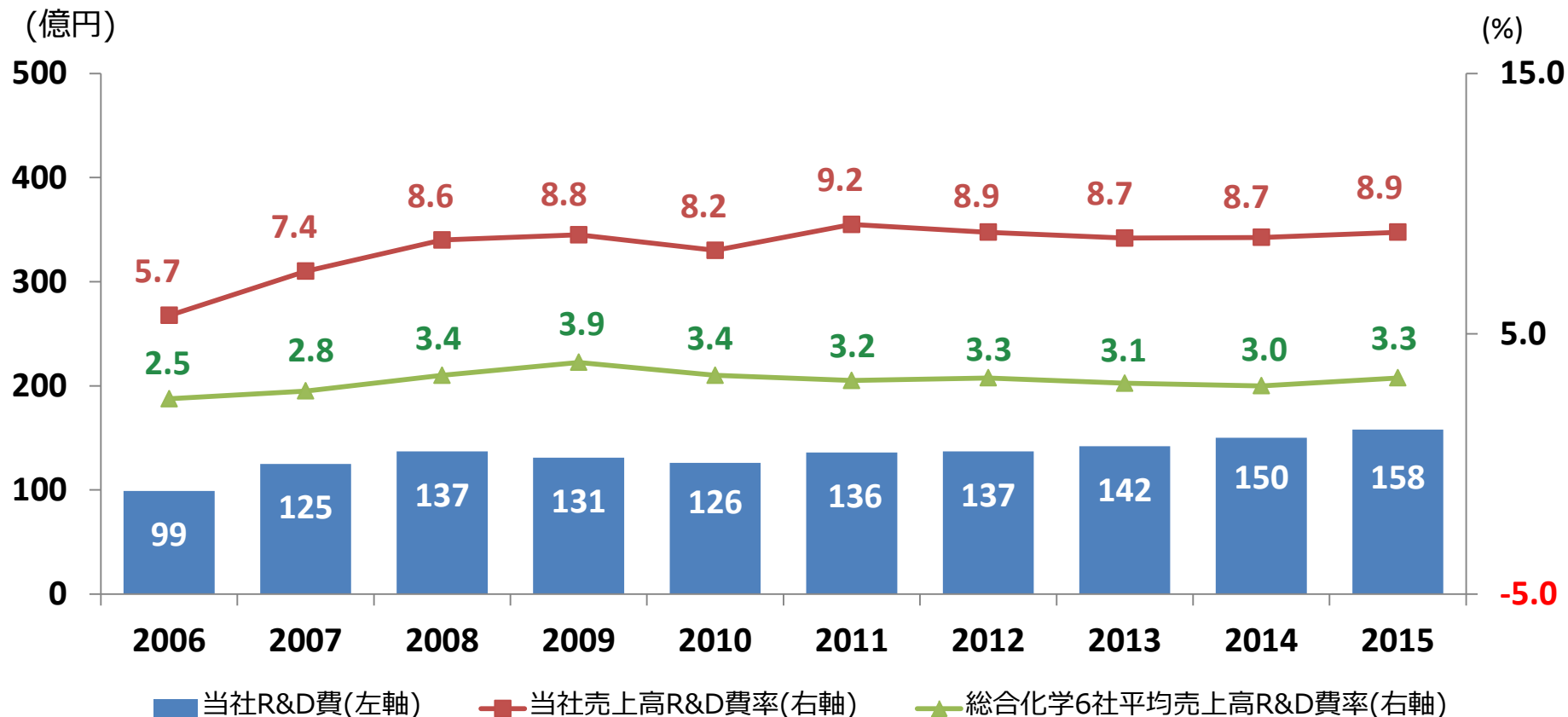
◆ 配当総額、自己株式取得額、総還元性向



当社の特徴⑦ 研究開発

4. 独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業

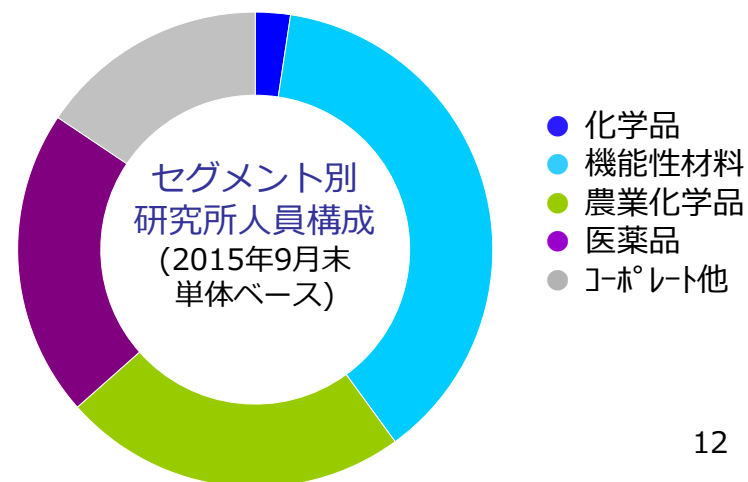
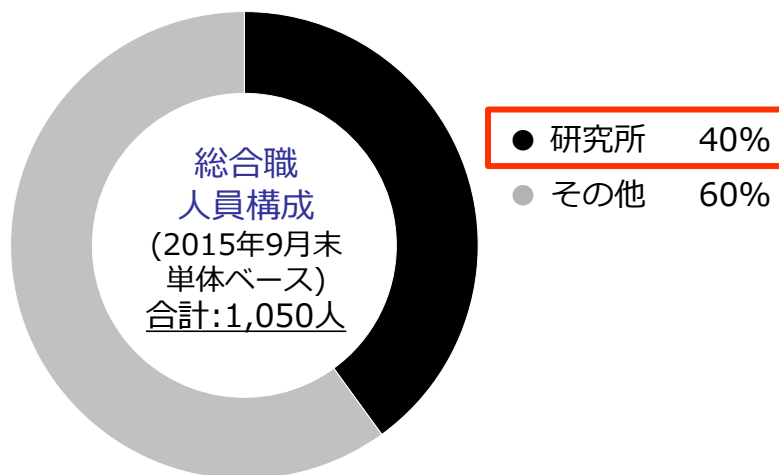
- ◆ R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆ 総合職の約40%はR&D要員



当社の特徴⑧ 研究開発

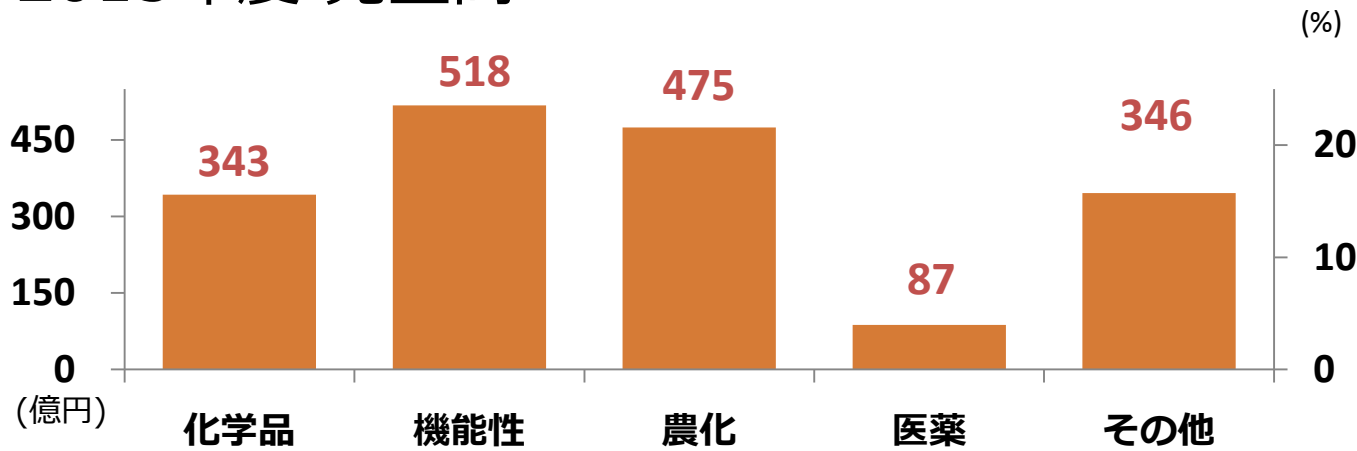
◆セグメント別研究開発費

セグメント	主要製品・分野	2015年度実績				
		売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	アンモニア系製品、硫酸系製品 ファインケミカル	343	39	11.4	5	1.5
機能性材料	液晶ディスプレイ用配向膜 半導体反射防止材	518	120	23.2	74	14.3
農業化学品	農薬	475	108	22.7	39	8.2
医薬品		87	20	23.0	24	27.6
コーポレート他		-	-	-	16	-
その他共合計		1,769	286	16.2	158	8.9



当社の事業構成

2015年度 売上高



化学品

- ・アンモニア
- ・硫酸系基礎化学品
- ・ファインケミカル

機能性材料

- ・液晶ディスプレイ材料
- ・半導体材料
- ・無機コロイド

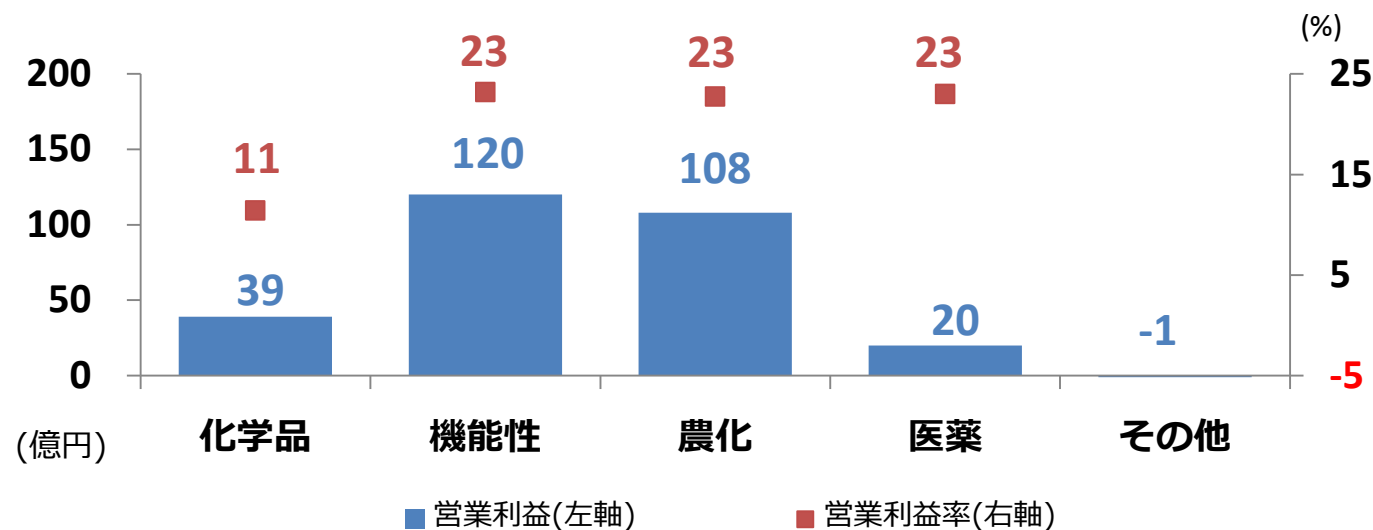
農業化学品

- ・農薬
- ・動物用医薬品

医薬品

- ・自社創薬
- ・原薬開発サポート

2015年度 営業利益・売上高営業利益率

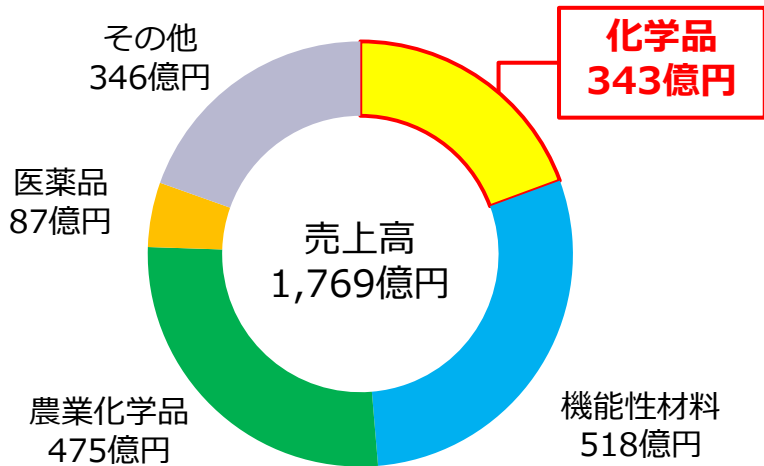


(白紙)

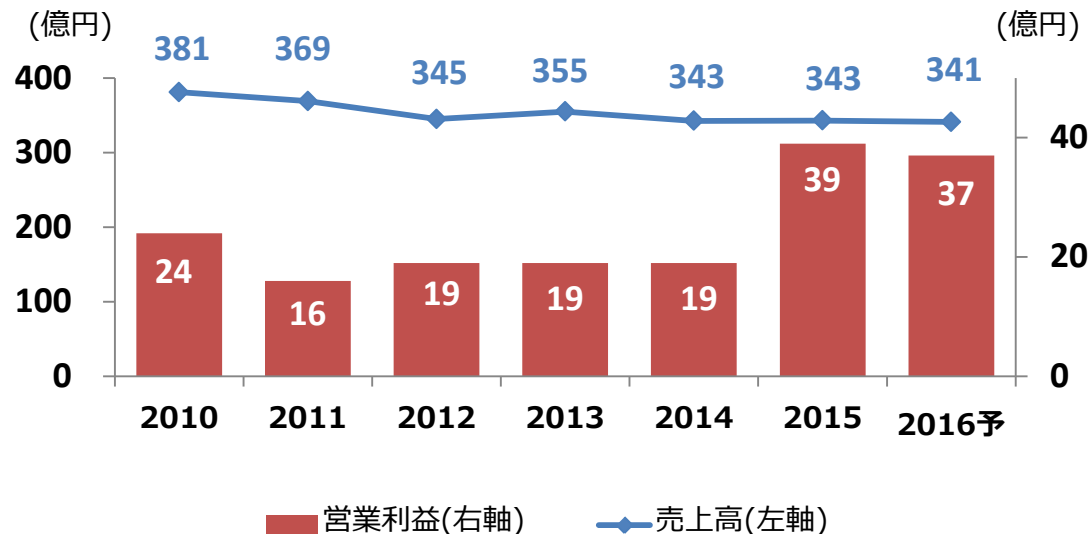
化学品セグメント① 業績

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

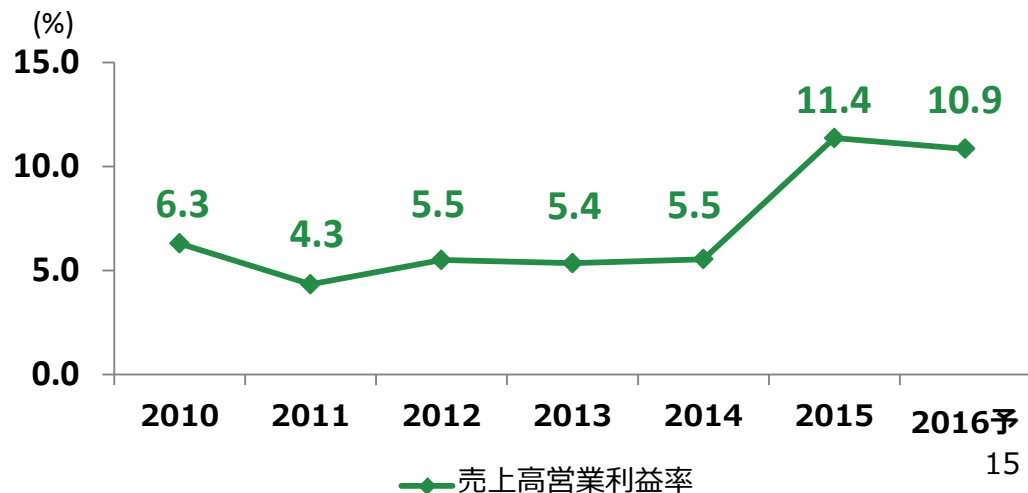
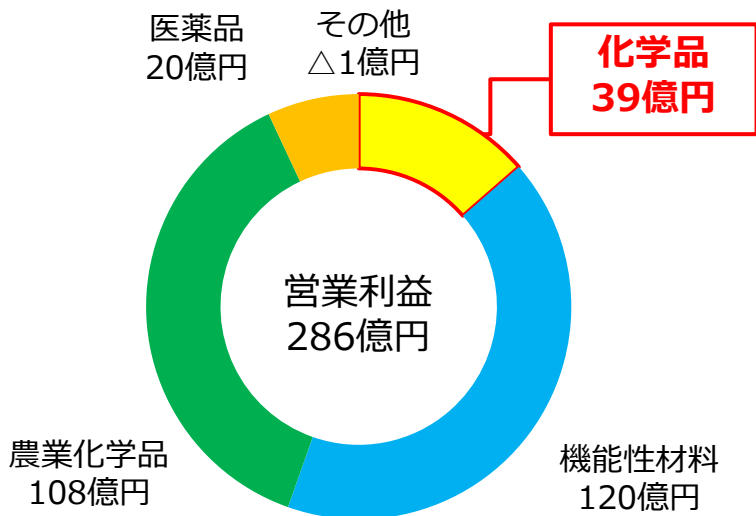
1. 2015年度 売上高構成



3. 化学品業績推移



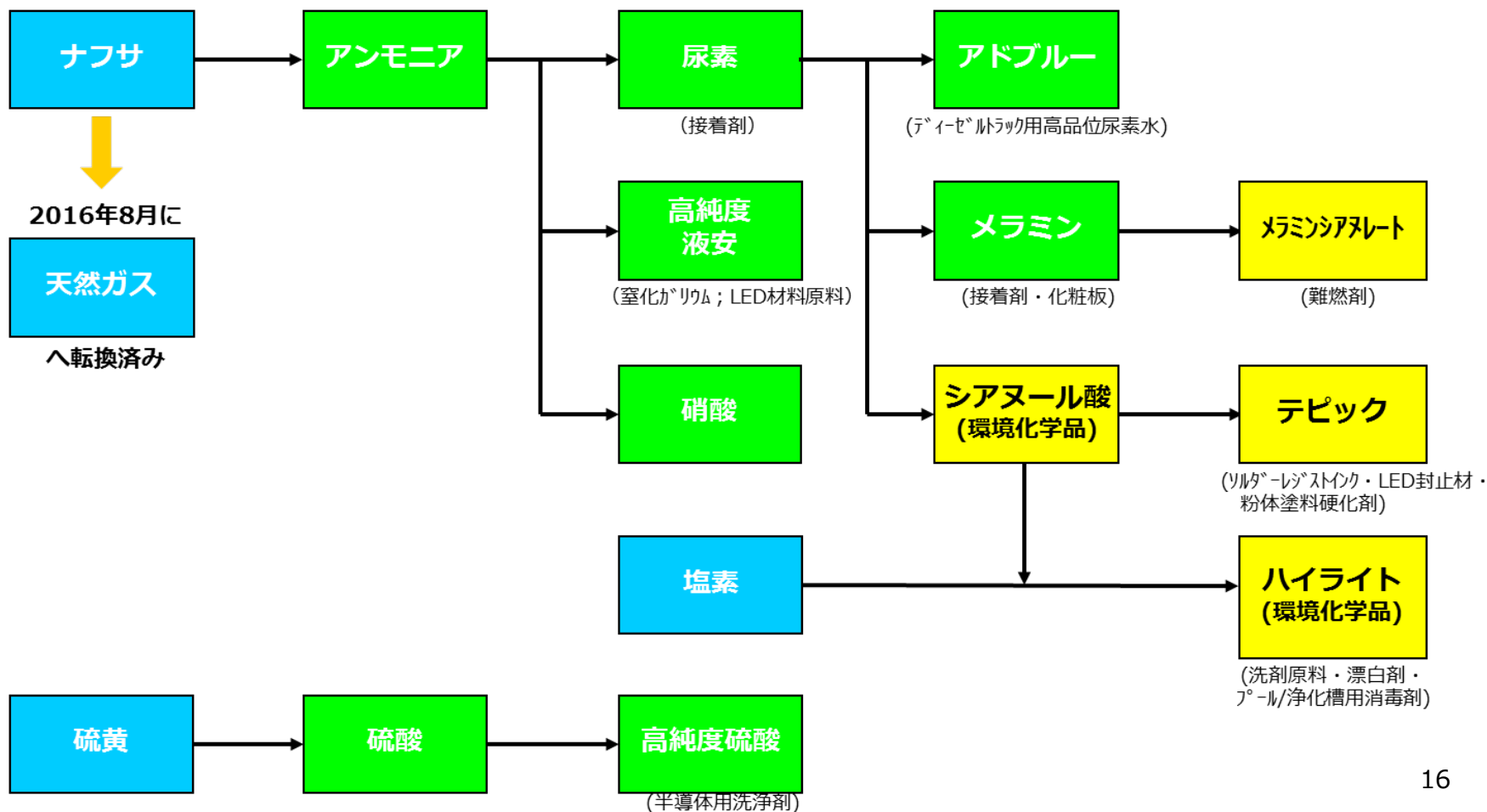
2. 2015年度 営業利益構成



化学品② 主要製品と製造フロー

◆アンモニア系製品と硫酸系製品

◆2015年度アンモニア国内生産シェア11%、高い自消率による付加価値向上

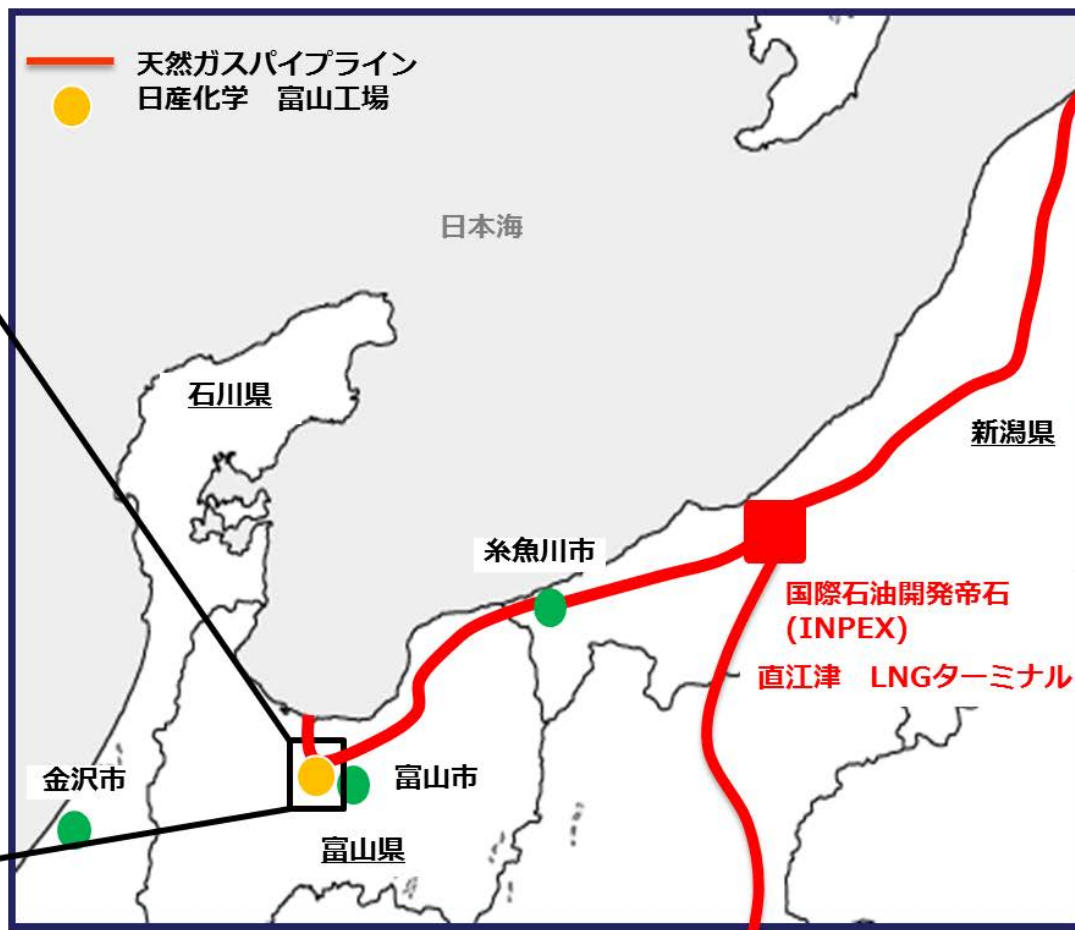
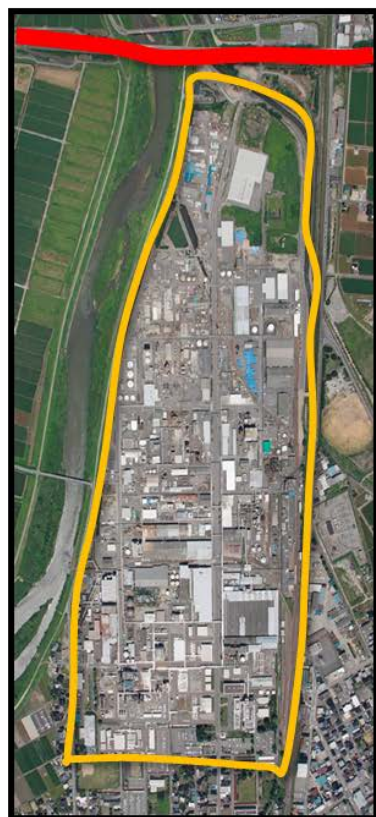


化学品③ アンモニア原料転換プロジェクト

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

- ◆プロジェクト：富山工場で生産しているアンモニア原料をナフサから天然ガスに転換
- ◆目的：ナフサに比べて価格変動幅が小さい天然ガスを原料とすることで、アンモニア、尿素、メラミンなど各種誘導品の収益安定化を図る
- ◆工事完了時期：2016年8月（予定通り完工済）

— 天然ガスパイプライン
— 日産化学 富山工場

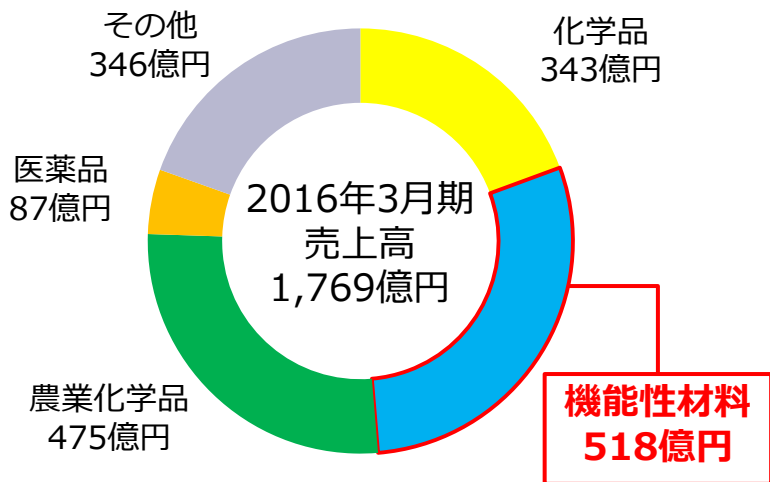


(白紙)

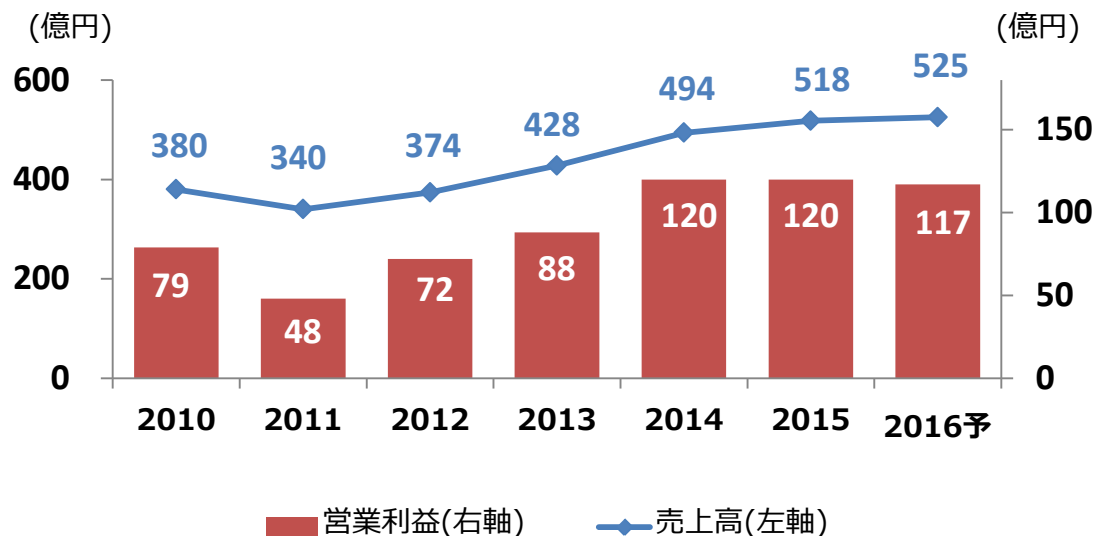
機能性材料セグメント① 業績

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

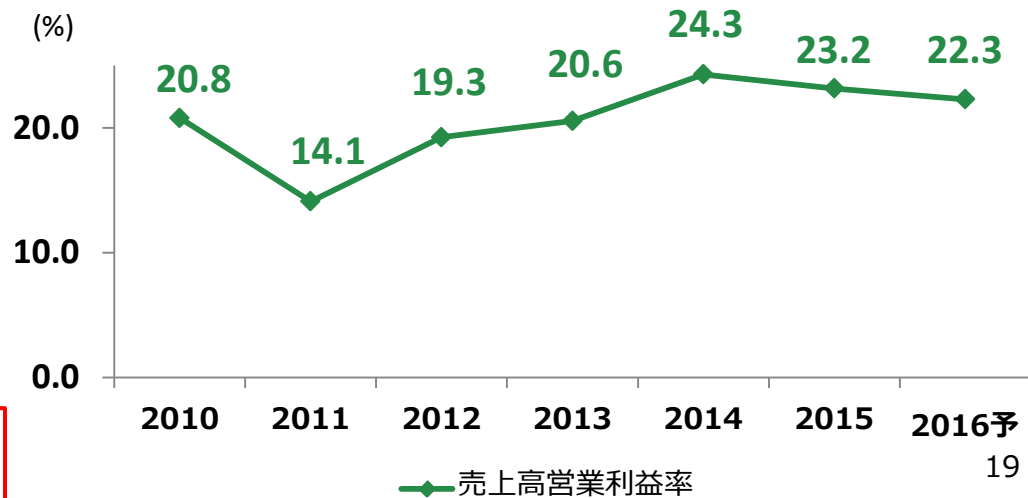
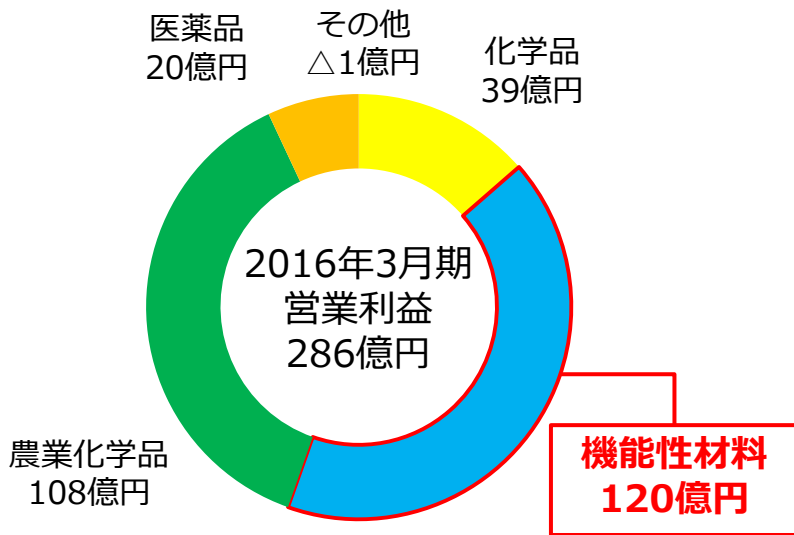
1. 2015年度 売上高構成



3. 機能性材料業績推移



2. 2015年度 営業利益構成

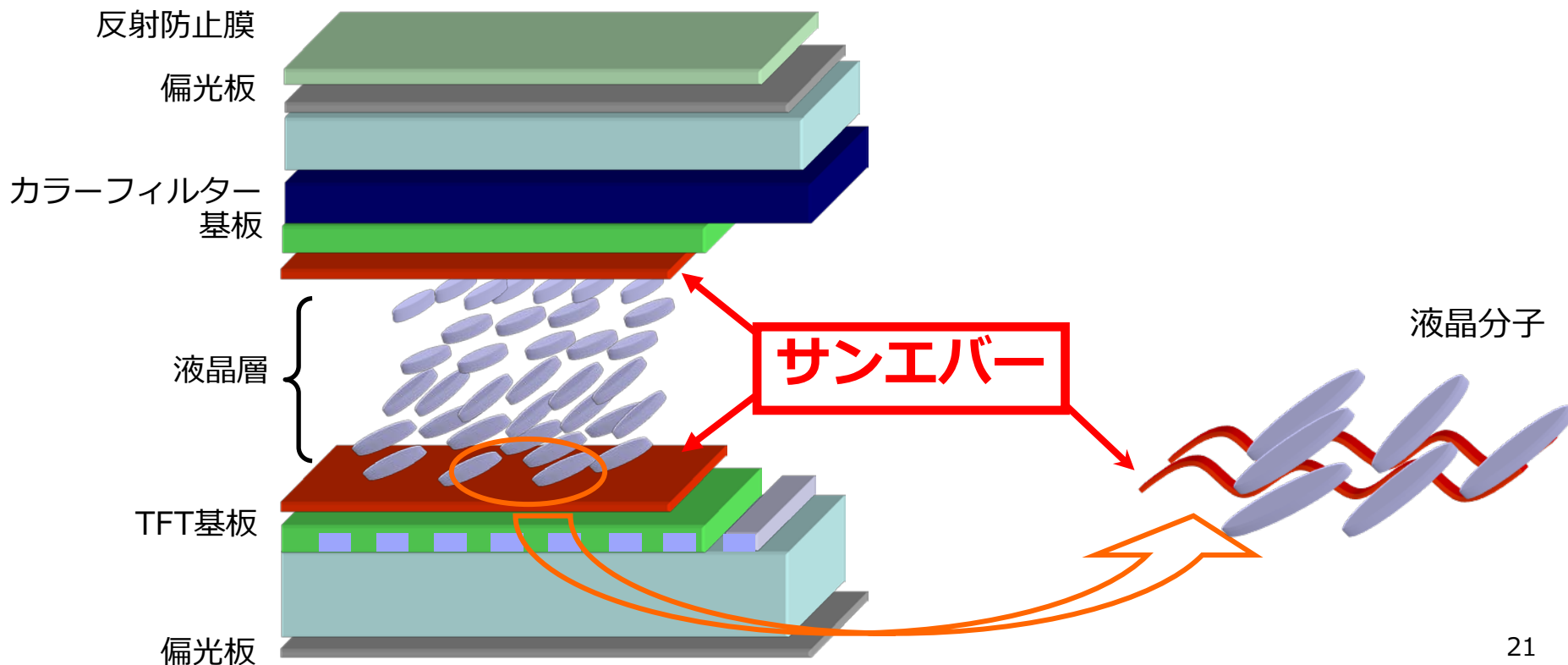


- ◆ 高収益源
- ◆ 市場シェアの高い商品を有す
- ◆ 新製品開発力

◆液晶ディスプレイ用配向膜 サンエバー

- ・液晶の向き、反応速度、コントラスト、解像度、焼き付きなどを制御する材料
- ・当社とA社が世界第二大メーカー、当社はスマホ・タブレット向けで優位

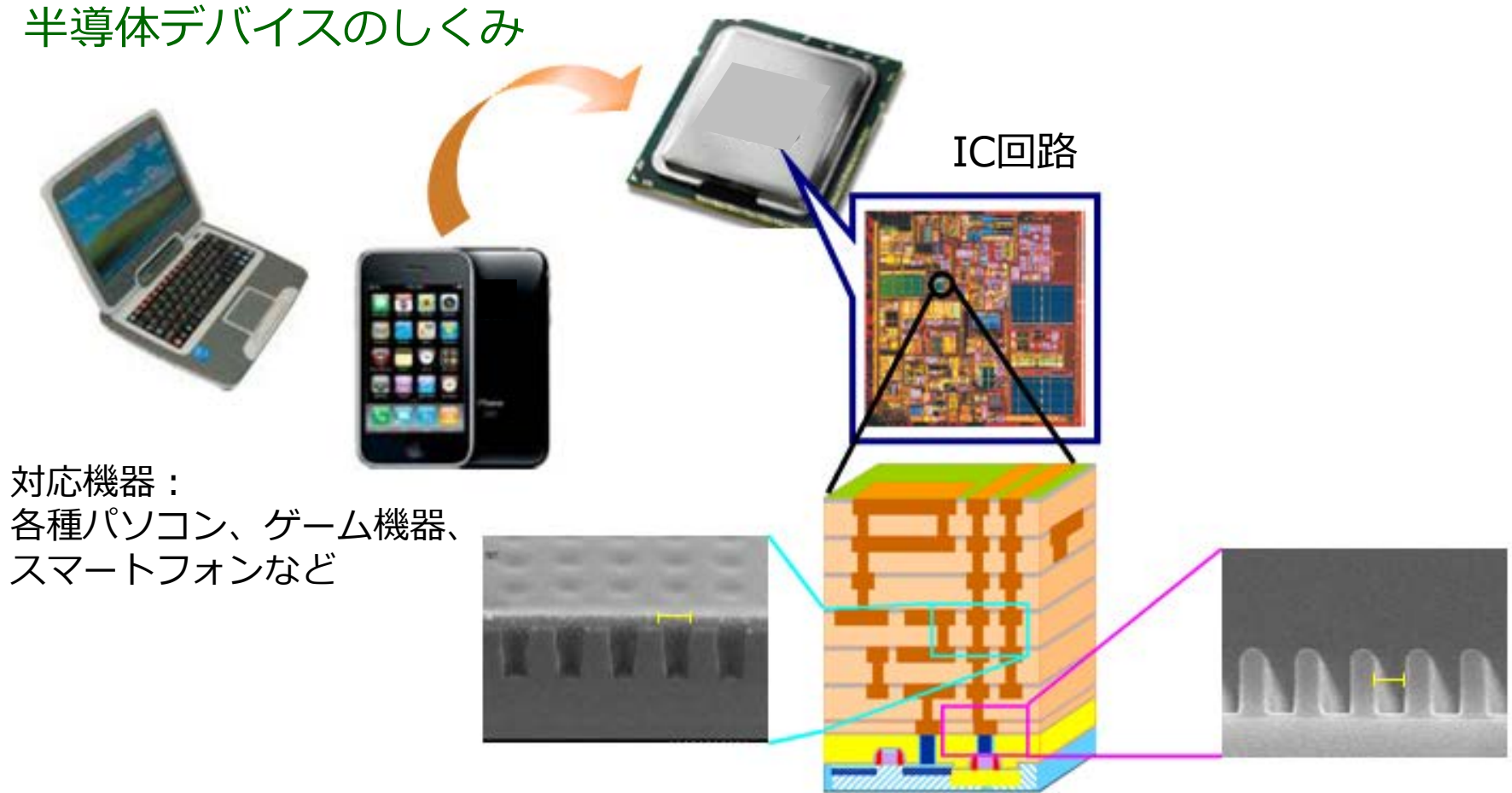
(液晶パネル断面図)



機能性材料④ 半導体材料

◆半導体反射防止コーティング材ARC®

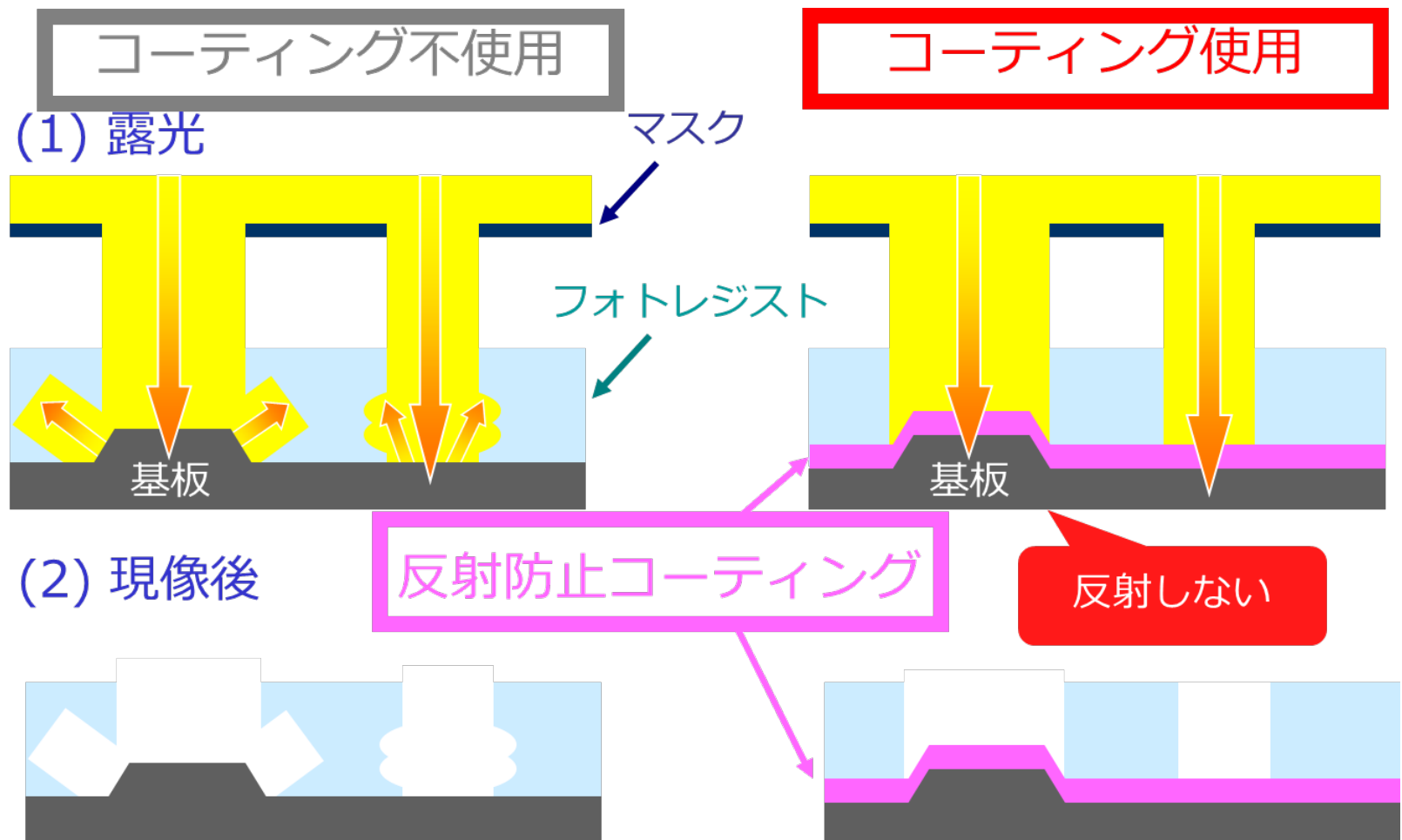
半導体デバイスのしくみ



次ページに拡大図

◆半導体反射防止コーティング材ARC®

- ・露光時に光の反射を防止することにより、微細なパターン形成を可能とする
- ・当社はアジアで圧倒的最大のシェアを有する

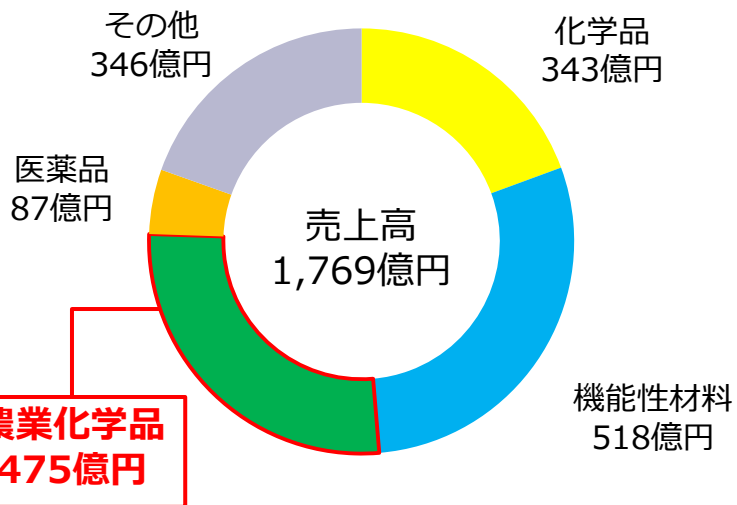


(白紙)

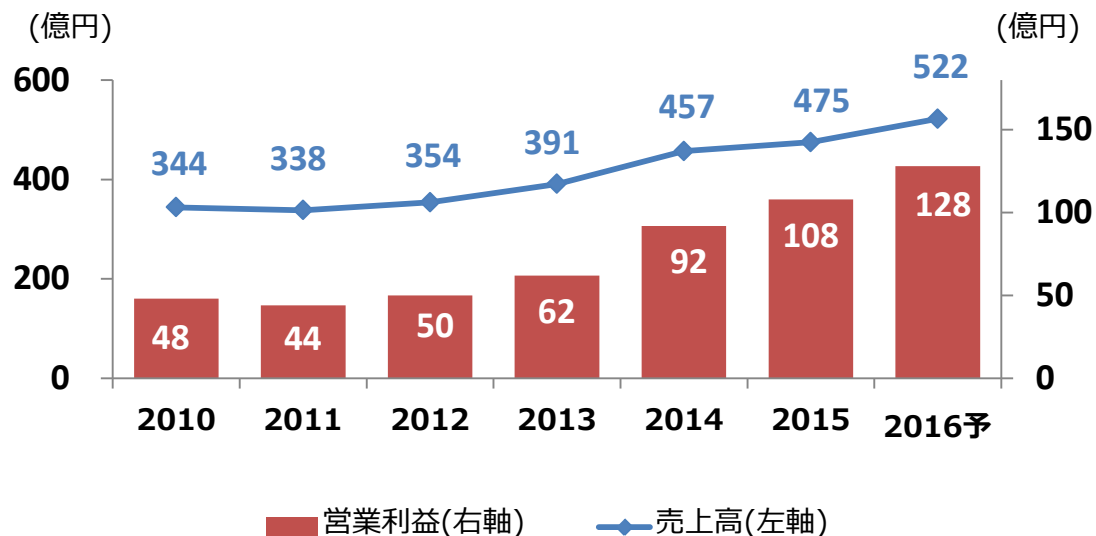
農業化学品セグメント① 業績

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

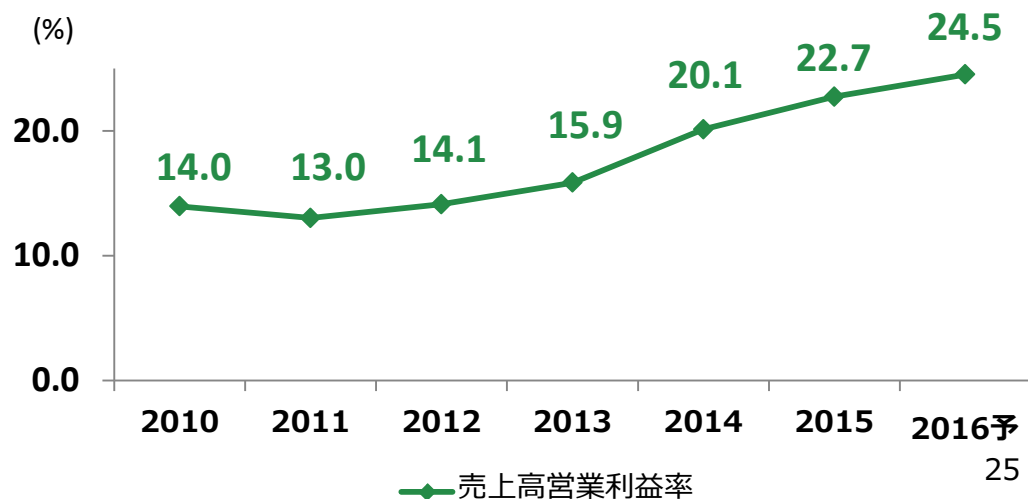
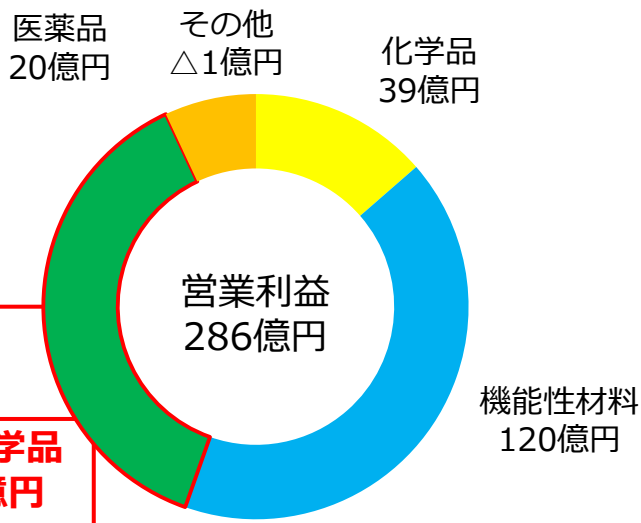
1. 2015年度 売上高構成



3. 農業化学品業績推移



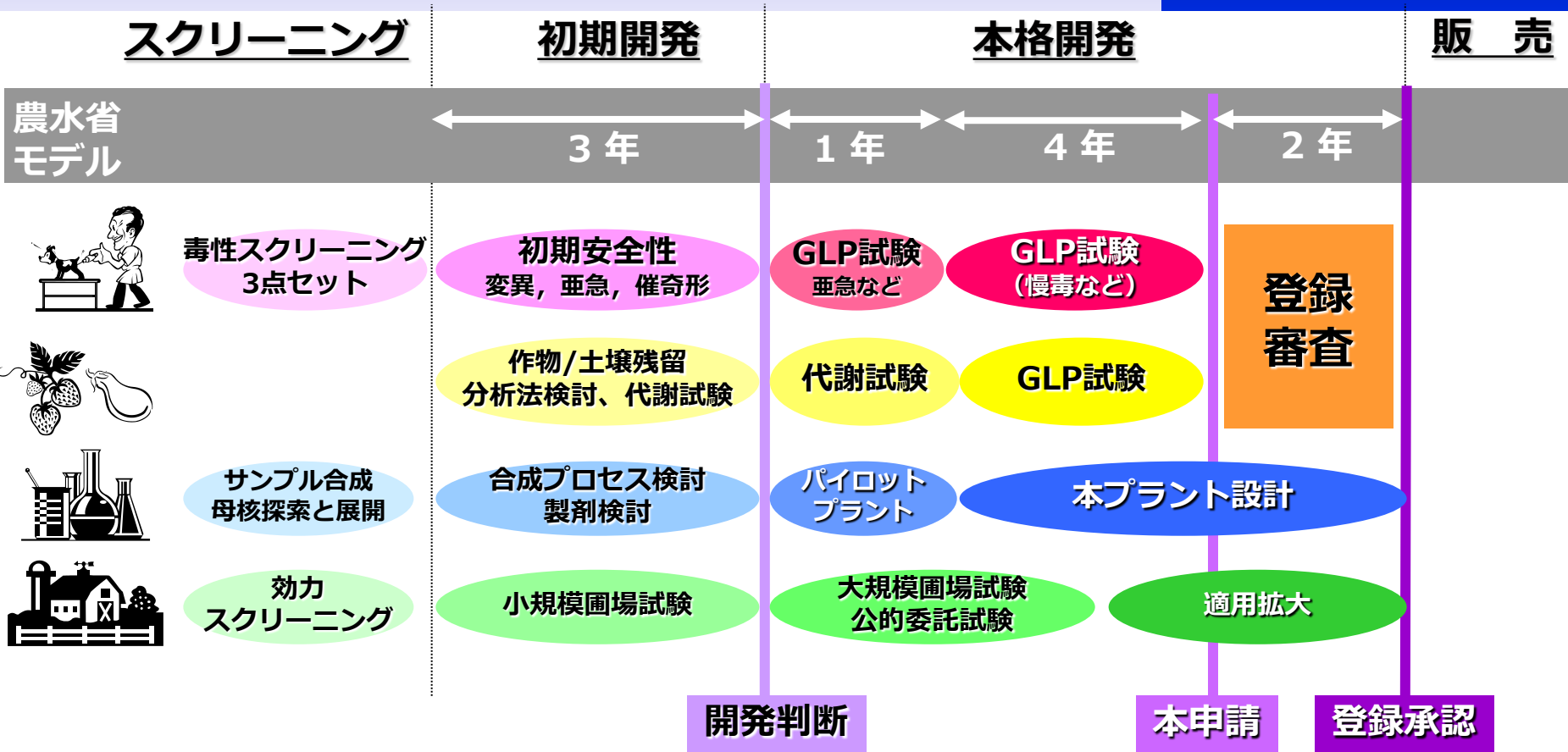
2. 2015年度 営業利益構成



- ◆新剤開発には、長期間、多額の研究開発費を要する
- ◆経済変動の影響が小さい安定的事業
- ◆当社は2008年以降、自社新剤、海外メジャーからの買収・導入剤で戦力強化
- ◆現在は、アルテア（水稲用除草剤）、フルララネル（動物用医薬品原薬）を成長エンジンとして高成長

農業化学品③ 開発スケジュール

Nissan Chemical,
where unique & solution meet



(当社開発品の一例、化合物ヒットの確率)

139,429

2

1



開発費25~50億円

農業化学品④ 主要製品

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

(上市時期)	(製品)
2002年度	ラウンドアップ (国内事業をモンサントより買収)
2008年度	ライメイ (殺菌剤、自社開発) スターマイト (殺虫剤、自社開発)
2009年度	パルサー (チフルザミド、殺菌剤、ダウより買収) プレバソン (殺虫剤、導入)
2010年度	ラウンドアップAL (一般家庭向け希釈済シャワータイプ除草剤) 上市、急成長中
2011-12年度	アルテア (除草剤、自社開発) を韓国・日本で上市
2013年度	MSD社*向けに動物用医薬品原薬フルララネルを出荷開始
2014年度	MSD社が動物用医薬品ブラベクトを欧州 (4月)、米国 (6月) で上市 エクシレル/プリロッソ (サイアジピル、殺虫剤、デュポンより導入) 上市
2015年度	(株)インターベット**がブラベクトを日本で上市 (7月) トレファノサイド (畑作用除草剤、米ゴーワンがダウより買収、当社は国内販売独占権を継承)
2017-18年度	イソクラスト (殺虫剤、ダウより導入) イソピラザム (殺菌剤、シンジェンタより導入) 上市予定
2019年度	殺虫剤 (自社開発) 上市予定
2022年度	汎用性殺菌剤 (自社開発) 上市予定

*MSD社 = メルク社 (米国) のアニマルヘルス事業部門、MSD Animal Health社

** (株)インターベット = MSD社の日本法人

問題の`根、は、
地下にありました。

ホタルイや多年生雑草の地上部を枯らすだけでなく、翌年の発生原因となる塊茎の形成も抑えることができる。新成分「アルテア」配合の水稲用除草剤シリーズが新登場。未来につながる雑草防除を、お勧めします。

誕生! 多年生雑草も抑える新成分、「アルテア」配合の除草剤シリーズ。



ツインスター
1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル
問題雑草に強い
(アルテア+タイムロン)

月光
1キロ粒剤/フロアブル
ノビエにより長く
(アルテア+カエン/スロール+タイムロン)

銀河
1キロ粒剤/ジャンボ
抵抗性雑草*により強く
(アルテア+タイムロン+ピラクロニル)

コメット
1キロ粒剤/ジャンボ/履靴
抵抗性雑草*に効果アップ
(アルテア+テフルメトロン+ピラクロニル)



◆アルテア

- ・ホタルイやカヤツリグサ科多年生雑草に卓効を示す広スペクトラム除草剤
- ・従来のスルホニルウレア系除草剤に抵抗性を示す雑草にも有効
- ・日本、韓国、中国で販売中

◆フルララネル (Fluralaner)

- ・ブラベクトの有効成分
- ・これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有しており、動物用医薬品原薬として、当社がMSD社に供給する

◆ブラベクト (BRAVECTO)

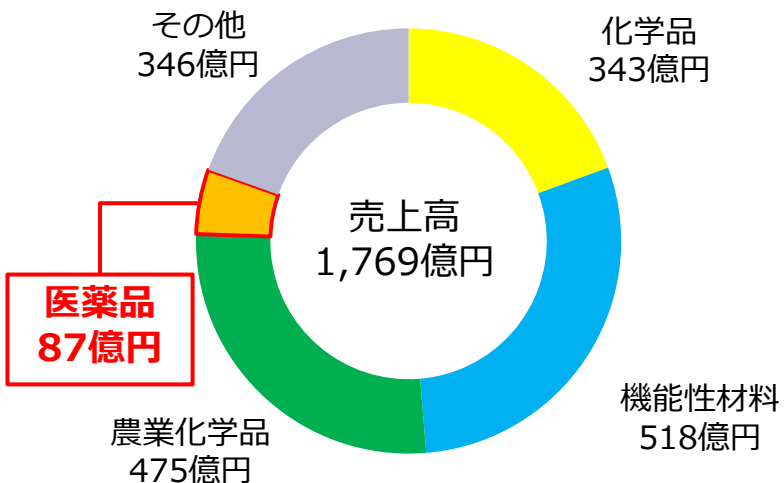
- ・MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニに対し即効性に優れ、さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間にわたって持続するという優れた特長を有する
- ・犬向けチュアブルタブレット（経口投与製剤）
MSD社が2014年4月よりEU・英国、6月より米国、2015年7月より日本でそれぞれ販売開始し、現在、約70か国で販売中
- ・犬・猫向けスポットオン製品（経皮投与製剤）
2016年5月EU、2016年7月米国で販売承認取得
猫向けは2016年7月EU、2016年10月米国で販売開始



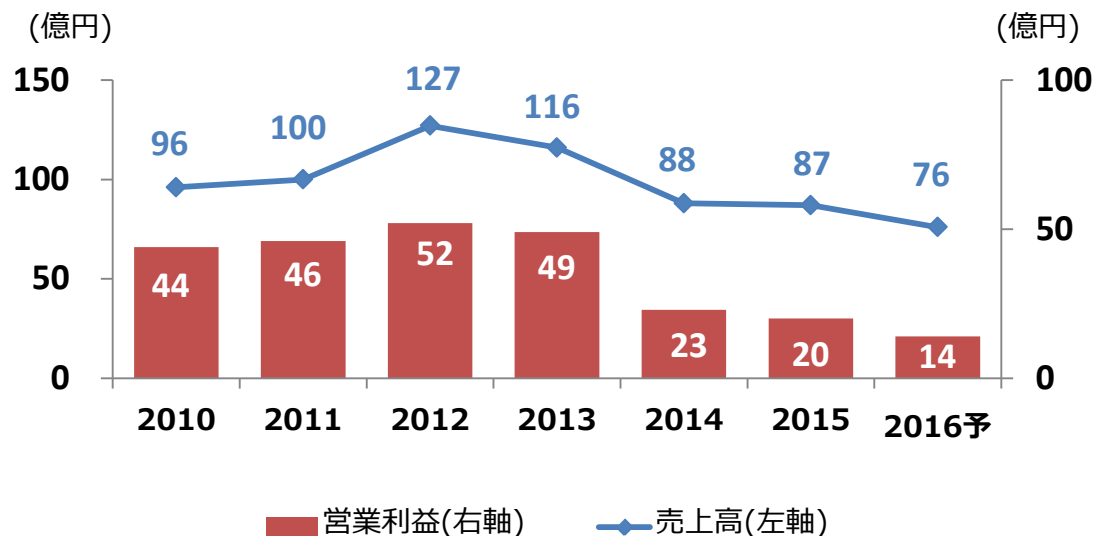
医薬品セグメント① 業績

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

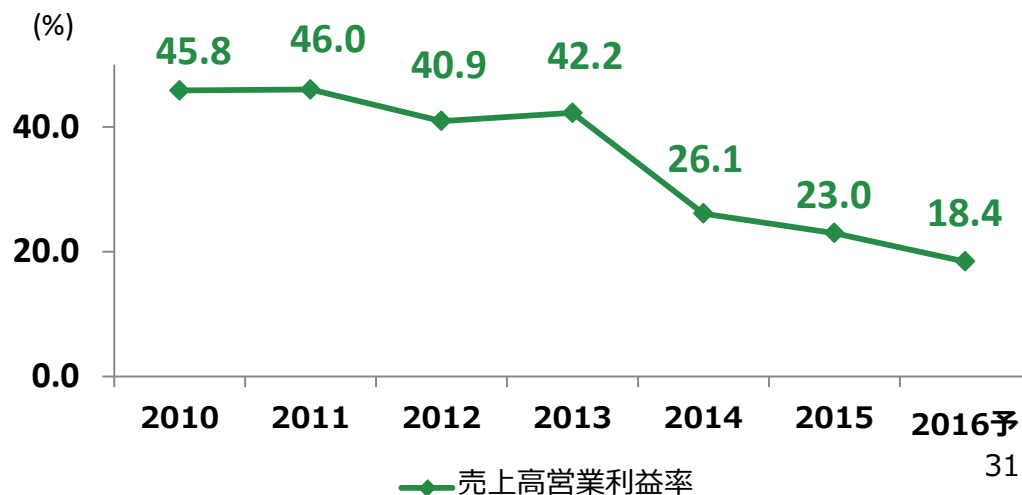
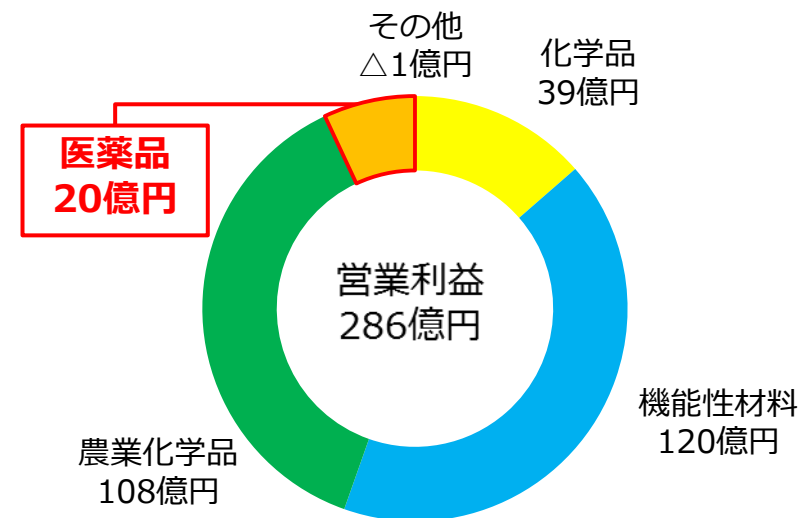
1. 2015年度 売上高構成



3. 医薬品業績推移

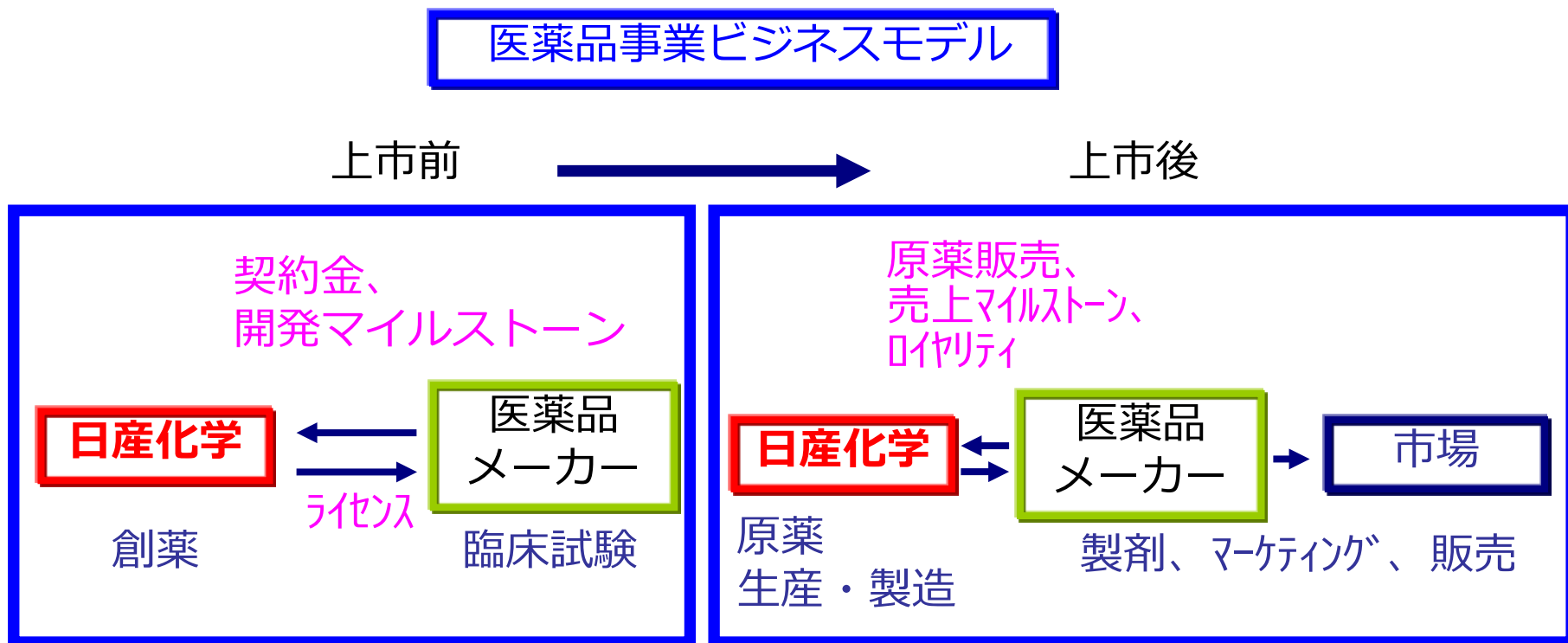


2. 2015年度 営業利益構成



医薬品② ビジネスモデル

- ◆ 創薬、原薬製造に特化
- ◆ 販売部門を有さないユニークな医家向けビジネスモデル



◆リバロ

	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 予想
国内末端売上高（薬価ベース、億円）	526	345	297	-
当社原薬売上高（国内外合計、億円）	102	69	58	51
当社原薬売上高 前年同期比成長率 （うち国内）	-2% (-2%)	-32% (-46%)	-15% (-27%)	-13% (-41%)

- ・高コレステロール血症治療薬で、
日本では興和創薬(株)様から発売
- ・2013年8月 国内化合物特許満了

医薬品④ パイプライン

開発品	適応症候補	パートナー
NIP-022	・血小板減少症	・小野薬品工業とのライセンス契約終了（2014/4） ・ヤクルト本社とライセンス契約締結（2015/10） ・国内臨床第 I 相試験開始（2016/7）
NT-702	・間欠性跛行 ・喘息	・大正製薬とのライセンス契約終了 ・導出先検討中
NTC-801	・不整脈 (心房細動など)	・帝人ファーマ、ブリストルマイヤーズ・スクイブとの ライセンス契約終了（2015/9） ・新たな導出先検討中

◆新規テーマ

戦略的に構築した化合物ライブラリー、精密有機合成力などの強みを活かし、循環器疾患領域、神経疾患領域での創薬を目指す

◆2016年1月 塩野義製薬と新規抗真菌薬創製を目指した共同研究契約締結

◆原体・中間体の製造

(前臨床から商業生産までの原体・中間体の製造、GMP*適合下での製造)

スケールアップ可能な製造法を確立し、原薬・中間体を製造

*GMP…医薬品の製造管理および品質管理の基準

◆プロセス研究 (合成ルート探索、反応条件最適化、スケールアップ研究)

定量的な反応解析や各操作での安全性データを取得し、

スケールアップ可能な製造法を確立

◆ジェネリック分野への原薬供給

これまでに蓄積した高活性原薬の取り扱い

技術や、高度な精製設備の活用により、

少量高活性原薬を開発・販売



(白紙)

前 中期経営計画 Vista2015①

数値目標と実績

(億円)

1.PL	中計	実績	差異
	2015 (A)	2015 (B)	(B)-(A)
売上高	1,800	1,769	-31
営業利益	260	達成 286	+26
経常利益	265	達成 295	+30
当期純利益	185	達成 224	+39
EPS (円)	113.00	達成 143.37	+30.37
為替レート (円/ドル)	85	上期 122 下期 118	
ナフサ (円/kl)	61,000	上期 48,000 下期 37,700	

(億円)

2.セグメント	中計		実績		差異	
	売上高 (2)	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
(1)	2015 (C)	2015 (D)	2015 (E)	2015 (F)	(E) - (C)	(F) - (D)
化学品	415	49	366	45	-49	-4
機能性材料	538	113	518	120	-20	+7
農業化学品	408	76	475	108	+67	+32
医薬品	79	35	64	14	-15	-21
卸売・その他・調整	360	-13	346	-1	-14	+12
合計	1,800	260	1,769	286	-31	+26

(1)旧セグメントベース (2) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

前 中期経営計画 Vista2015②

ターゲットとする経営指標

- ◆ ROEを継続して最重視（資本の効率活用）
 - － 2015年13.4%（中計） →2015年 14.6%（実績）

中計目標達成

- ◆ 売上高営業利益率（高付加価値企業）
 - － 2015年14.4%（中計） →2015年 16.2%（実績）

中計目標達成

- ◆ 配当性向30%以上維持（中計） →2015年 30.7%（実績）
 - － 自己株式取得は機動的に対応

中計目標達成

- ◆ 高付加価値、研究開発型企业
 - － 売上高研究開発費比率2015年9.6%（中計） →2015年 8.9%（実績）

新 中期経営計画 Vista2021①

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

(2016-2021) 数値目標

(億円)

1. PL	2015	2016(1)	2018	2021
売上高	1,769	1,875	2,170	2,500
営業利益	286	297	350	400
経常利益	295	304	356	408
当期純利益	224	230	271	310
売上高営業利益率	16.2%	15.8%	16.1%	16.0%
ROE	14.6%	14.3%	14%以上	14%以上
配当性向	30.7%	33.3%	40%	40%
総還元性向	70.8%	70%維持	70%維持	70%維持

(諸元)

為替レート (円/ドル)	上期 122 下期 118	2016年度以降	115
ナフサ (円/kl)	上 48,000 下 37,700	上 35,400 下 35,400	2017年度以降 51,100

2. セグメント

(1)

(億円)

	売上高(2)				営業利益			
	2015	2016(1)	2018	2021	2015	2016	2018	2021
化学品	343	354	380	405	39	49	40	45
機能性材料	518	553	680	829	120	117	154	184
農業化学品	475	521	586	670	108	113	129	167
医薬品	87	74	81	83	20	14	20	24
卸売・その他・調整	346	373	443	513	-1	4	7	-20
合計	1,769	1,875	2,170	2,500	286	297	350	400

(1) 2016年度予想は2016年5月12日発表ベースで、他ページの2016年予とは異なる

(2) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

新 中期経営計画 Vista2021②

(2016-2021) ターゲットとする経営指標

- ◆ 売上高営業利益率
 - － 15%以上維持
- ◆ ROEを継続して最重視
 - － 14%以上維持
- ◆ 配当性向
 - － 現状実績30%から段階的に引き上げ、2018年度以降40%
- ◆ 総還元性向
 - － 70%維持（新規に目標設定）
- ◆ 高付加価値、研究開発型企业
 - － 売上高研究開発費比率 8%以上

情報通信およびライフサイエンス事業が成長を牽引し、
化学品と関係会社が安定的な収益を確保している

環境エネルギー事業の礎を築き、常に前進する将来性と
存在感のある化学メーカーとしての地位を確立している

新 中期経営計画 Vista2021④

Stage I (2016-2018) 基本戦略

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

現有製品の利益の最大化

マーケティング力の向上

研究開発力の強化

Stage I
2016-2018

Stage II
2019-2021

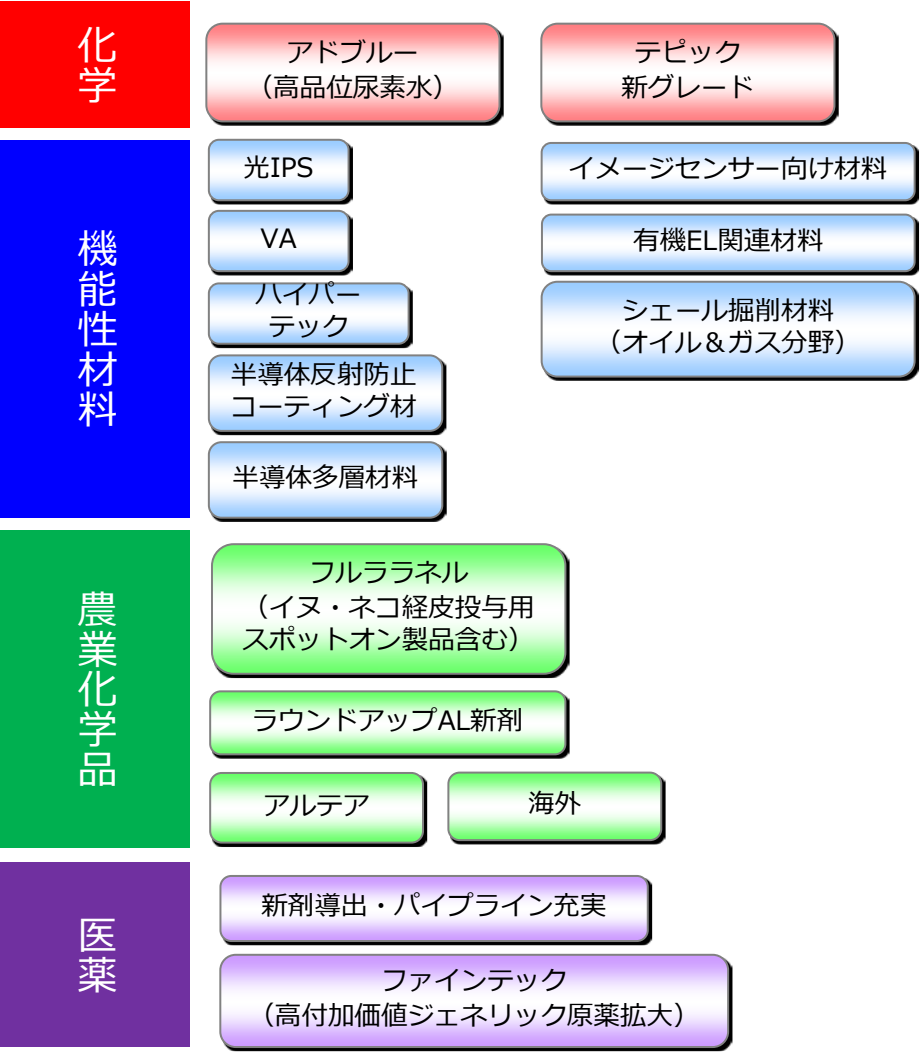
2030

新 中期経営計画 Vista2021⑤

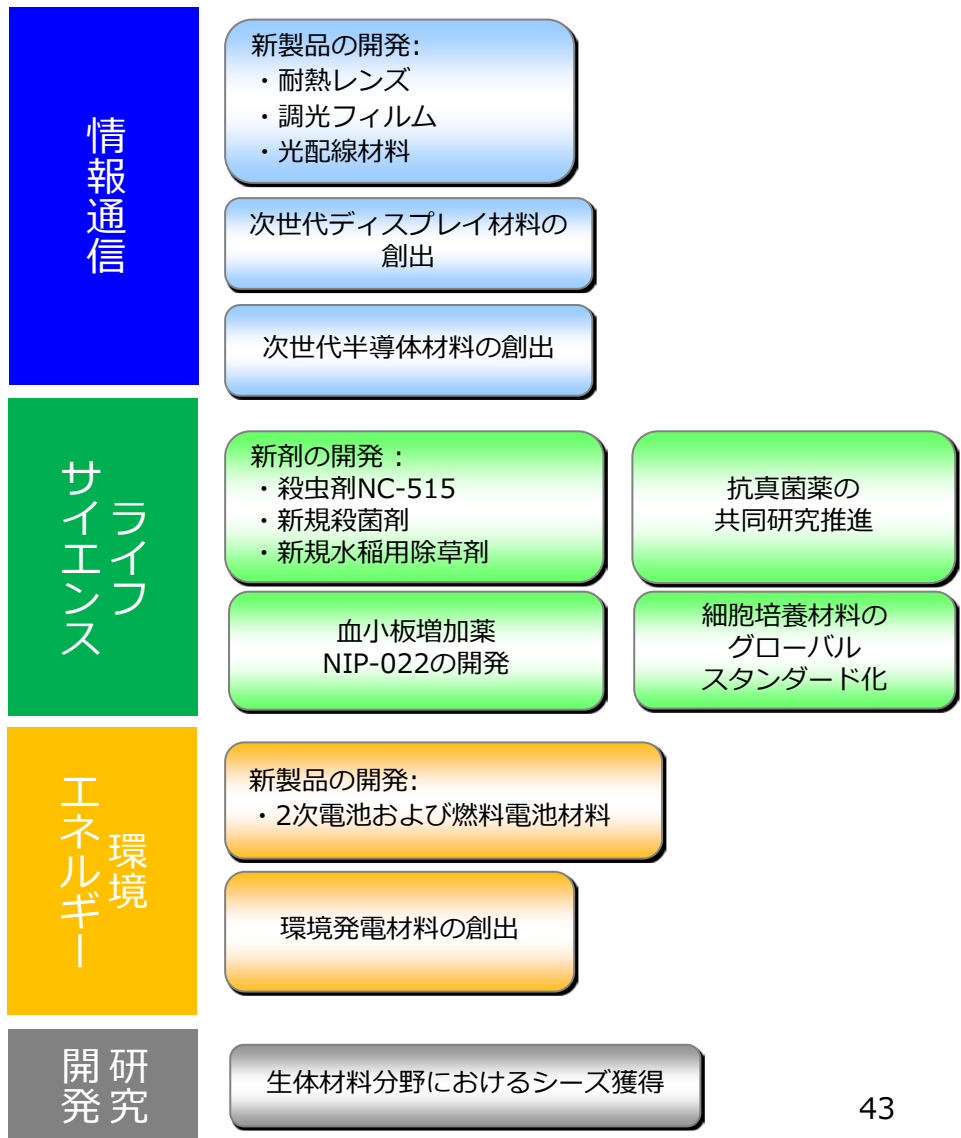
Nissan Chemical,
where unique & solution meet

Stage I (2016-2018)

Stage I における成長の源泉



Stage II 以降に向けた取り組み



(白紙)

(参考) 長期業績推移

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016E
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,805
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	299
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	297
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	225
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	383	396
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	16.6%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	14.2%
EPS (円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	146.88
配当 (円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	50
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	34.0%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	90	50
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	353	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	331	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	102	154
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	97	97
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%

(参考) 主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テック メロミンシアレート ハライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アトブルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： リリダールレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌル酸： プール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アトブルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンバー ARC® (KrF、ArF) OptiStack® (多層材料) NHC OPTIFOCUS イルソス</p> <p>◆無機コロイド材料 スノテックス オルガノシリカゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス</p>	<p>液晶配向材用ホリミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料 (Si-HM、SOC) *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシカ： シリコンウェル・アルミ、ガラスハードディスク研磨剤、 特殊鋼板、脱硝触媒、電子機器、紙・繊維表面処理 有機溶媒分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルガ ハーミット シリウス ラウンドアップ アルテア(NC-620)</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト</p> <p>◆殺菌剤 バルサー、イカルガ、グレートム (チルガミド) ライメイ</p> <p>◆動物薬 フルララール (ブラバクト)</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜</p> <p>芝、稲、ばれいしよ 野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬ブラバクト外原薬</p>
医薬	<p>リバロ ファインテック</p>	<p>高コレステロール血症治療薬 医薬品研究開発参加型事業</p>
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

(参考) IRホームページのご紹介

Nissan Chemical,
where unique & solution meet

http://www.nissanchem.co.jp/ir_info/index.html

IR情報ページでご覧いただける主な情報

- IR新着情報
- 日産化学ってどんな会社？
- 経営方針
- 業績・財務情報
- IR資料室
- 株式情報
- IRカレンダー
- 株価情報
- 最新資料ダウンロード
など

The screenshot shows the IR information page for Nissan Chemical Industries, Ltd. The header includes the company logo and name in Japanese and English. The main heading is "IR情報" (IR Information). Below this, there is a navigation menu with "ホーム" (Home) and "IR情報" (IR Information). The page features several key sections:

- IR新着情報** (IR Latest Information): A list of recent news items with dates and titles, such as "2016.11.08 2017年3月期 第2四半期 決算説明会音声配信" and "2016.11.04 2017年3月期 第2四半期 決算説明会資料".
- IRカレンダー** (IR Calendar): A section for upcoming events, including "2017年2月3日 (金) 13:00 2017年3月期第3四半期決算発表予定".
- 株価情報** (Share Price Information): A section showing the current share price (3,855), a daily change of +10 (0.26%), and a line chart of the share price from 10/3 to 11/1. It also lists financial metrics like dividend yield (1.30%), PER (25.64), and PBR (3.83).
- 経営方針** (Business Policy): A section with links for "社長メッセージ" (CEO Message), "役員一覧" (Executive List), "コーポレートガバナンス" (Corporate Governance), and "組織図" (Organizational Chart).
- 業績・財務** (Performance & Finance): A section with links for "業績ハイライト" (Performance Highlights), "連結損益計算書" (Consolidated Income Statement), "連結キャッシュ・フロー計算書" (Consolidated Cash Flow Statement), "セグメント情報" (Segment Information), and "連結貸借対照表" (Consolidated Balance Sheet).

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。